

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
図画工作科実技Ⅱ		茅野 憲一	実技	1	後期
必修・選択	修了要件	選択			
	資格要件				
学習目標	<p>短大2年間の学習成果を踏まえ、幼稚園教育要領の内容・造形表現の領域を再度認識した上で、保育・指導方法のあり方について一層の研究を深める。内容としては、カリキュラムの作成と指導方法、保育指導案の作成、保育現場の問題点の解消など一層研究を深める。また、美術館での鑑賞をしたりして、美術に親しむ態度を培う。</p> <p>(1) 幼児画の発達を踏まえた指導のあり方を学習する。  (2) 保育現場を想定し、環境構成のあり方を研究し、テーマを工夫して制作活動を実践する。  (3) 立体造形について研究を深める。</p>				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	幼児画の発達について	1歳前後から6歳前後の幼児の平面表現に対する発達段階の理解			
2	幼児画の発達について				
3	幼児画の発達について				
4	遊ぶものをつくる(1)…実技 紙類	身近な材料(紙類)を使って作る幼児が遊ぶもの			
5	遊ぶものをつくる(2)…実技 粘土	身近な材料(粘土)を使って作る幼児が遊ぶもの			
6	遊ぶものをつくる(3)…実技 ビニルやプラスチック	身近な材料(ビニル・プラスチック)を使って作る幼児が遊ぶもの			
7	美術館めぐり	美術に親しみ、作品に接する機会			
8	共同制作Ⅰ…(1) 実技 (発泡スチロール)	テーマ -動物園- 各人がそれぞれ思い思いのパーツを制作して持ち寄り、一つの作品に作り上げる共同制作			
9	共同制作Ⅰ…(2) 実技 (発泡スチロール)				
10	共同制作Ⅰ…(3) 実技 (発泡スチロール)				
11	共同制作Ⅱ…(1) 実技 (ダンボール)	テーマ -空想の家- あるリーダーが全体的な計画を立て、各人は役割を分担して一つのものを作り上げる共同制作			
12	共同制作Ⅱ…(2) 実技 (ダンボール)				
13	共同制作Ⅱ…(3) 実技 (ダンボール)				
14	絵手紙をかく…実技	季節に合った植物などの絵と短いコメントで自分らしいメッセージを伝えるハガキ作成			
15	まとめ	課題の提出			
参 考 書	花篤實他編 「幼児教育講座 新造形表現 実技編」 三晃書房 2009 花篤實他編 「幼児教育講座 造形表現 理論・実践編」 三晃書房 2009				
学習上の注意(自己学習、学外学習など)	材料や図画工作セット等の用具をしっかりと準備すること。事前研究をすること。				
評価の方法と時期	授業後の提出物、出席状況、学習態度を資料とする。				